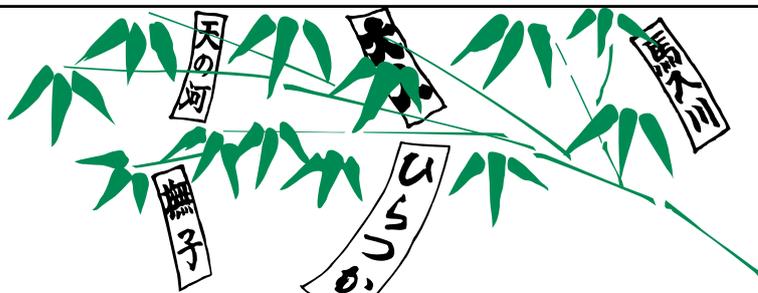




http://hiratsuka-rotary.jp



2015~2016年度
国際ロータリーテーマ
Be a gift to the world
「世界へのプレゼントになろう」

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 常盤卓嗣 ● 副会長 片野之万 ● 幹事 高橋建二 ● 会報委員長 西村裕子 (2015~2016年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3040回例会 2016年3月10日 グランドホテル神奈中 週報第3040号

本日の卓話者ご紹介

株式会社 研 進
代表取締役 出 縄 貴 史 様



卓 話

「どんぐりブラザーズと いのちの森づくりプロジェクト」

株式会社 研 進
代表取締役 出 縄 貴 史

「自然の森は、色々な種類が混ざり合っている。仲の良いものだけを集めても駄目。人間社会も同じ。混ぜる。混ぜる。」とは、生態学者・宮脇昭先生(横浜国大名誉教授)の言葉です。2006年の春、新福祉工場「しんわルネッサンス」の植栽を宮脇先生にご指導頂いたご縁で、進和学園の「いのちの森づくり」プロジェクトはスタートしました。宮脇先生が提唱される「森づくり」の考え方が、一人一人の個性を尊重しながら切磋琢磨し、お互いに少し我慢して共に生きるという「共生」の理念と重なり、「人づくり」にも通ずるものと感じたのです。

進和学園は、1958年に私の祖父の自宅を開放して、知的障害のある子供達40名の施設として誕生、以来、半世紀以上に亘り多くの方々に支えて頂き、現在、500名近い障害のある方々にご利用頂いています。「働く喜

び」「役立つ喜び」を目標に掲げ、42年目を迎える本田技研工業(株)様の自動車部品組立の仕事を中心に運営しています。(株)研進は、進和学園の営業窓口会社として、ホンダ様と進和学園を仲介する役割を果たして来ましたが、リーマンショックによる世界的経済危機に伴い仕事量が激減、極めて厳しい環境に晒され、事業の多角化を余儀なくされたのです。

「いのちの森づくり」もその一環として位置付け、当初、研進が主導してどんぐり拾いや苗木の栽培を手掛けました。「本物は厳しさに耐えて長持ちするもの」「やらずに諦めないでやりながら考える」、これも宮脇語録ですが、ピンチはチャンスと捉え、かなり楽観的に取り組みを進めました。というより、どんぐりや木の実から苗木を育てるという行為、自然や命あるものと触れ合うこと自体、私達に癒しをもたらす元気を取り戻してくれるのです。

「いのちの森づくり」は、福祉・環境・教育・労働の連携を目標に掲げていますが、障害者の自立就労支援という切り口に加え、地球温暖化に伴う環境問題への対応、子供や若者の情操教育、あるいは、企業の社会的責任(CSR)の高まりの中で、多くの方々と価値観が重なる取り組みと言えます。加えて、東日本大震災は、白砂青松に象徴される人工林の脆弱さを露呈し、直根・深根性の自然種(どんぐりの木やタブノキ等)の密植・混植方式が、自然災害に対処する優れた手法として見直される契機ともなりました。

2008年、本プロジェクトの趣旨に賛同する個人・団体から成る「いのちの森づくり友の会」を発足させ、会費を「森づくり」のための基金として積み立てる仕組みを導入しました。企業や団体からの助成金や協賛金も合わせ、本基金を活用して公共のスペースでの植樹活動を推進しています。東北や遠州灘の海岸防潮林、国道沿道

<出席報告>

本 日	3月10日	会員数	63名	対象者	60名	出席者	44(43)名	出席率	70.97%			
前々回	2月25日	会員数	63名	対象者	60名	出席者	46(43)名	出席率	73.02%	MUP 2名	計 48名	修正率 76.19%

の防砂林、公園、学校、保育園その他、行政や関係機関より公共性が認められる土地を確保頂き、基金を活用して障害者が育てた苗木を寄贈・植樹します。これまでに、本基金の活用事案は196件、植樹した苗木は6万本以上となりました。通常の販売形態を含め、間もなく出荷苗木本数は20万本に達します。約3分の1は、皆様から「いのちの森づくり友の会」へのご寄附や助成・協賛金により実現し、「森づくり」に励む障害者の工賃に還元され自立・就労支援に繋がっています。

2012年からは、進和学園以外に連携福祉施設との協働体制として「どんぐりブラザーズ」と称するチームを編成。現在、苗木の栽培は6施設、植樹後のメンテナンス業務である草刈（「育樹」と言います）に従事する施設は10法人を超えました。最近、農業において障害者が活躍する「農福連携」が注目されていますが、「いのちの森づくり」も同様の可能性を秘めており、彼らに貴重な就労の場を創出しつつ、より良い社会を目指す事業に育てて行きたいと思えます。

これからも、多くの皆様と価値観を共有しながら、「森づくり」を通じた「人づくり」に少しでも貢献できるよう、一同、力を合わせて取り組んで参ります。 以上

卓話者プロフィール

出 縄 貴 史 様

株式会社 研進 代表取締役

(株)研進は、社会福祉法人進和学園（平塚市の知的障害者福祉施設）の営業窓口会社です。厚生労働省に障害者就業支援団体として登録され、進和学園及び連携福祉施設で働く障害者に仕事を仲介しています。

【略 歴】

慶應大学卒、三井住友海上火災保険（株）に27年間勤務。2005年4月より現職。福祉分野に企業的営業手法を導入、永年の発注企業であるホンダとの取引を中心に「いのちの森づくり」プロジェクトや福祉施設自主製品の販売促進等、事業の多角化に注力。現場からの問題意識を踏まえた提言活動も行っている。

<委員会報告>

●スマイルボックス委員会 委員長 関口幸恵会員

《12月のスマイル大賞の発表です》

12/17 鈴木栄一会員

「結婚祝いありがとうございました。夫婦で100才まで生きたいです。」

*100才と言わず、もっともっとお元気に長生きしてください。皆で追いかけてみましょう！

12/24 三荒弘道会員

「お坊さんだけどもリークリスマス。前田委員長率いる親睦委員会のみなさま、本日楽しみにしております。」

*「お坊さんだけどもリークリスマス！」この一言で会場が大爆笑！皆さんが笑顔（スマイル）になれたので文句なしのスマイル大賞です。

<幹事報告>

◎ロータリー米山記念奨学会より米山功労クラブとして感謝状が届きました。

表彰年月：2016年2月

表彰回数：第39回 米山功労クラブ

*「米山功労クラブ」は個人・法人・クラブ扱いすべての特別寄付が対象となり、特別寄付金累計額が100万円を超えるごとに表彰されます。

<メイクアップ>

2名

鳥海衡一・柏手 茂会員

<本日のスマイル>

16名

<ゲスト>

1名

出縄貴史様（卓話者）

<ビジター>

0名

<卓話・行事予定>

4月 7日（木）→ 4/9（土）春の家族会

大相撲藤沢場所観戦

14日（木）通常例会になりました。（卓話予定）

21日（木）★夜間例会

テレビ神奈川「神奈川ビジネス Up To Date」

司会 経済ジャーナリスト 内田 裕子様

28日（木）入会記念卓話 菅原喜幸会員

5月 5日（木）休会（祝日）

12日（木）企業訪問（職業奉仕委員会担当）

20日（金）★夜間例会

北里大学病院 消化器内科

主任教授 小泉和三郎様

26日（木）（卓話予定）

<市内例会変更>

現在ございません。